美郷がいちばん、すきです美郷

みさと 議会だより

第26号
2011.1.14

12月定例会

予防接種事業を拡充　定例会概要　2
過疎債活用は　主な質疑　4
身近な議会を目指して　住民と議会との懇談会　6
次年度に向けた考えを質す　一般質問　8
スマイル農園“10アール”　キラリ美郷人　12

目指せ横綱

アマチュア横綱 渋谷悟選手と初稽古

発行／秋田県美郷町議会
編集／議会広報特別委員会

一般会計補正予算

予防接種事業を拡充

12月定例会を、12月13日から16日までの4日間の会期で開きました。

審議した議案は、平成22度一般会計補正予算など20議案。その全てを、原案のとおり可決・同意しました。

また、一般質問は2議員が登壇して町政を質し、陳情5件を採択し2件を不採択としました。

今定例会では、平成22年度一般会計予算の子宮頸がん予防接種事業費に499万5千円を追加して1395万6千円とし、新期にヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン接種費用255万6千円を補正して、予防接種事業を拡充しました。

子宮頸がんワクチン接種については、これまでの中学1～3年生の対象者に加えて、新たに高校1～3年生を追加しました。また、接種費用は国の補正予算にともない、これまで3分の2補助だった中学1～3年生の接種費用を全額補助とし、新たに追加する高校1～3年生の接種費用を2分の1補助としました。

さらに、町単独事業として、この事業開始の8月以降からこれまでに接種している方の利用者負担額についても補助します。

ヒブワクチン接種と小児用肺炎球菌ワクチン接種については、対象者を0歳から4歳の乳幼児とし、接種費用の全額を町が負担します。

その他、今定例会で可決した補正予算の主な内容は、名水サミット開催経費補助金や来年度の学習指導要領改定にともなう経費、燃料費・光熱水費の増額など。補正予算額は1億1419万3千円で、平成22年度一般会計総額は116億2897万円となりました。

年頭のあいさつ

美郷町議会議長
髙橋　猛

新年明けましておめでとうございます。

昨年議会においては、議員政治倫理条例の制定、森林・林業活性化議員連盟への加入、TPP反対の決議等いろいろな動きがありました。また住民との懇談会も回数を増やし、多くの方々と意見交換ができましたが、今後とも出来るだけそうした機会を作ってまいりたいと思います。また議会改革、議会の活性化は常に課題なわけですが、よりよい議会のあり方について研鑽を深めて参りたいと思います。

ところで、議会にとって明るい話題は、広報が全国コンクールで優秀賞を受賞した事でした。その反響は大きなものがあり全国からこれまでにない問い合わせや視察研修の依頼があり、その対応に追われました。視察に来られたある方から「**この広報は週刊誌だね**」と言われた事がありました。週刊誌は手に取って見たくなる、そんな読者の心理を誘うものがありますが、広報も多くの方から見てもらう、読んでもらう事が大切であると思いますので、今後とも意を払って参りたいと思います。

本年が皆様にとりまして良い年になりますよう祈念申し上げ挨拶といたします。

議員発議

『議会議員の政治倫理に関する条例』を制定

美郷町議会は、議員自らが政治倫理の基本となる事項を定めることで、町民に信頼される議会として町政の発展に寄与することを目的とした『議会議員の政治倫理に関する条例』を、12月定例会で発議（＊）しました。

その主な内容は、町民全体の代表者としての倫理基準遵守、町発注工事の請負契約や物品納入契約の辞退、違反した場合の議員4人以上や有権者の200分の一以上での審査請求、審査結果の報告と公表また議会への出席自粛勧告などを規定した条例です。

議会では、これまで、先進地の事例や美郷町議会のあるべき姿を踏まえた議論を尽くしてきました。その過程こそが、議会倫理や町政発展につながるものです。

（＊）発議・議員が議案を提出すること。

本会議質疑

過疎債活用は

16日の定例会最終日、議案に対する質疑と採決が行われました。主な質疑を要約しお伝えします。

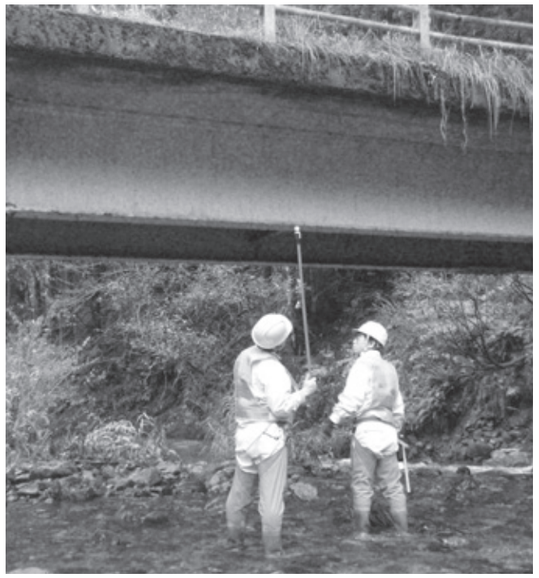
一般会計補正予算

深澤（均）議員　過疎債を活用しての事業に限度額や内容への制限はあるか。

企画財政課長　限度額はないが、過疎計画に掲載された事業でなければ活用できない。

深澤（均）議員　ソフト事業への活用はあるか。

企画財政課長　橋梁の長寿命化計画をソフト事業として申請している。



橋梁点検

松くい虫対策は

熊谷（隆）議員　一丈木公園の松くい虫対策は万全か。

農政課長　6・7月に被害木に対して薬剤の地上散布を行うとともに被害木の伐倒薫蒸処理を行った。

今後は樹幹注入で予防していく。

熊谷（隆）議員　ため池百選に選ばれている一丈木公園の今後の樹木管理や、草刈りなどの管理に対する考えは。

町長　一丈木公園のみならず、町で管理する公園で松くい虫によって枯死する樹木が多くなった場合の対応を検討していく。

また、草刈りなどの管理については、業者への管理徹底を指導していく。

春の一丈木公園

運転免許取得費補助の内容は

森元議員　障害者への自動車運転免許取得補助金の内容は。

福祉保健課長　平成18年10月からの制度で、町内の障害者手帳4級以上を資格対象に、免許取得者へ10万円を上限として補助するものだ。

第7回 臨時会

（11月8日）

議員発議

TPP締結反対の意見書提出

11月8日、第7回臨時会を開催し、TPP締結反対の意見書提出を議員発議し全会一致で可決しました。

〈意見書要旨〉

環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）は、関税全廃が原則であり、経済優先で拙速に貿易自由化を進めれば、国民に食料を生産供給する農業・農村は、壊滅的な打撃を受ける危機に直面することは必至で、美郷町の農業と地域経済にとって大きな影響があると危惧される。

以上の趣旨から、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）締結に参加しないこと。

【提出先】

内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣

JAのTPP反対集会より

人　事

【美郷町教育委員の選任】

任期満了に伴い、再任しました。

なお、12月17日開かれた教育委員会において、教育長に再任されています。

後松順之助氏
（再任）
（本堂東部）

【人権擁護委員の推薦】

次の方の推薦に同意しました。

中村しげ子氏
（新任）
（元本堂北部）

吉水是眞氏
（再任）
（東高方町）

【固定資産評価審査委員会委員の選任】

次の方々を選任しました。

藤田　智氏
（再任）
（上野荒町）

小西弘蔵氏
（再任）
（米町）

深田秋彦氏
（新任）
（下畑屋）

第8回 臨時会

（11月25日）

給与等を減額

11月25日、第8回臨時会を開催し、人事院勧告に基づき一般職の職員給与を月平均0・1%引き下げる改正案と町長2万円、副町長1万円、教育長9千円の給与月額の減額や議会議員、常勤特別職および一般職の期末手当を0・15ヶ月減額する条例改正案を賛成多数で可決しました。

反対討論

泉（美）議員　公務員賃金の引き下げは、民間賃金と連動して賃下げの悪循環となり、地域経済に与える影響も大きく賛成できない。

第６回　住民と議会との懇談会

身近な議会を目指して2回目の開催

10月20・21・22日の３日間にわたり町内９会場で行った「住民と議会との懇談会」の内容を報告します。

大坂生活環境改善センターにて

最多90名の参加者

22年度の懇談会は、住民により身近な議会を目指して、年2回の開催を計画し7月に続いての開催でした。

また、今年度から行政区単位で開催したところ、これまでで最多の90名の参加をいただきました。

議会では、11月11日に全体での検討会を開いて、今回出された提言・意見・要望の91項目について、町への要望事項などを話し合い、町に、11月19日に意見書と要望書を提出し、12月10日に回答をいただきました。また、懇談会を開催した行政区にはその結果を報告しました。

以下、懇談会で話し合われた主な内容や町の回答を要約しお伝えします。

町への要望事項

特別枠

住民　会館のトイレ改修に特別枠の補助制度を。

町の回答　一般的な改修は補助率1／3だが、トイレ改修には、100万円を限度に補助率を2／3にかさ上げしており、更なる特別枠は困難だ。

光ファイバー

住民　インターネット・光ファイバーの早期実現を望む。

町の回答　サービスエリア拡大の早期実現に向けて、アンケート調査を実施し状況と要望の分析を行っている。

NTT東日本に強く働きかけ、国の補助事業などの活用も視野に取り組みたい。

処理場の水質検査

住民　不燃物処理場のあった、千畑地区の吐出・上鶴ヶ沢地内の水質検査の実施と検査情報の公表をすべきだ。

町の回答　合併後も検査を継続している。今年度の結果は2月頃の広報で知らせたい。過去の調査では環境基準に適合していた。

舗装道路の修繕

住民　南谷地線、中関・鞍掛1号線の舗装道路の修繕を望む。

町の回答　町道補修は年次計画で実施しているが、本路線は計画路線に追加して検討したい。

河川の浚渫（しゅんせつ）

住民　仙南金沢の厨川と六郷荒川上流部の堆積土砂の撤去や清掃をしてほしい。

町の回答　県の関係部署へ、引き続き要望していく。

美郷町消防訓練大会

防火水槽と水利の確保

住民　仙南金沢、谷地中地内に防火水槽が一つで、有事における水利の確保は充分か。

町の回答　防火水槽は一箇所だが、3本の自然水利が利用可能であり、一定の水利は確保されている。

町では、消防水利の確保ができない地域を優先して整備したい。

歩道の除雪

住民　みずほの里ロード・大坂・善知鳥間の歩道除雪を。

町の回答　この区間の利用者は極端に少なく、除雪路線に位置づけていないが、歩道機能を確保するため必要に応じて除雪している。

街路樹の適正管理

住民　街路樹の蔦の絡みや、落ち葉の清掃、毛虫の駆除、枝の張りだし、街灯への支障、交差点の見通しを良くするなど管理を適正にすべきだ。

町の回答　造園業者に管理委託しているが、指導を徹底したい。

作目部会に研修助成

住民　農業の作目部会の研修助成を復活できないか。

わくわく園前の街路樹

町の回答　作目部会への助成は他自治体と同様であり、引き続き栽培技術マイスター制度による技術指導の面から支援していきたい。

町への意見提言

行政対応

住民　空き家対策では個々の将来的な考えを確認することが必要だ。

住民　ごみ拾いボランティアに、もっと町職員の参加を。

住民　各種委員会や審議会の活動内容、審議状況をメンバーも含めて公表すべきだ。メンバーが判れば、聞いたり相談ができる。

学校再編

住民　統合する中学校の部活動は、現在各学校で活動中のものは継続してほしい。

農政

住民　米減収に対し利子助成だけでなく、町独自の支援策を講じてほしい。

住民　地域経済の立て直しには農業の活性化だ。米からの脱却と全国に売り出せる農産物が必要だ。

一般質問 次年度に向けた考えを質す（ただす）

深澤　均 議員
医療費補助について
次世代との交流について

泉　美和子 議員
介護保険制度について
住宅リフォーム支援事業について

6年生まで医療費助成を
現段階では実施できない

深澤　均 議員

議員　近年の雇用環境は若年層にとって非常に厳しく、収入が減ることはあっても増えることがない状況だ。こういう中で、子どもの病気が長引いたり、2人3人となると月の収入が激減することもあり、なかには治療の継続や精密検査をためらう場面もあると聞く。

子どもは地域の大切な宝であり、子どもの命に繋がる医療を安心して受けられる環境を地域で支えることが必要な時だ。

大仙市のように小学6年生までの医療費助成を望む声は依然として多い。やれるやれないではなく、どうすれば住民の声に応えられるか千思万考すべきだ。

町長　学童保育の学年延長の完全実施や、予算全体に影響を及ぼす財源の確保などを総合的に勘案すると、現状では実施できる段階ではない。

次世代との交流見通しは

議員　保育園の保護者と町との交流の機会が図られ期待しているが、今後の展開の見通しはどうか。また、次世代農業者との交流見通しは。

町長　10月にすこやか園、11月にはなかよし園で交流を行った。今後12月4日に六郷小学校、2月にわくわく園で開催を予定している。

次世代農業者との交流は、若手農業者が1月29日に開催を予定している「若手農業者の集い」に参加させてもらい、その中で意見交換したいと考えている。

町と若い世代の方々との意見交換会（すこやか園）

負担増を見直せ
議論を注視する

泉　美和子 議員

特別養護老人ホーム　ロートピア緑泉

議員　2012年からの第5期介護保険制度事業計画では、国民負担を増やし介護サービスを縮小する方向で見直しが進められている。これは、低所得者の介護サービス利用をいっそう困難にするものであり、国に対しやめるよう求めるべきだ。また、国庫負担の引き上げ、保険料、利用料の減免、介護労働者の処遇改善を国に要望すべきだ。さらに、町独自の負担軽減策も求める。

町長　まだ決定されたものでないことから、要望する段階ではない。与党民主党厚生労働部門会議では内容に反対、あるいは慎重な検討を求める提言案が了承されており町としては議論に注視し対応を検討していく。また、本町は2市1町で構成する広域市町村圏組合を保険者として介護保険制度を実施しており、町独自の軽減策は難しい。低所得者に対しては、施設利用が困難とならないよう自己負担について限度額を設定するなどの措置を実施している。

今後、制度改正の内容が判明した段階で広域組合において議論していく。

リフォーム支援の拡大を

議員　秋田県が今年から実施している住宅リフォーム緊急支援事業は10月現在、申請数1万1697件、補助総額16億4700万円、工事額は252億2500万円で地域経済への波及効果を実証しており県は来年度の事業継続を明言した。そこで美郷町の助成状況はどうなっているか。さらに町は県制度と併用して広く利用できる住宅リフォーム助成制度を実施するべきだ。

町長　県事業の11月末の美郷町内利用件数は、180件で工事総額は4億6664万円だ。

また町の実施事業は、公共下水道への接続助成12件、農業集落排水への接続助成が2件、太陽光発電システム設置助成が15件、申請予定者が4件、耐震改修助成はない。

来年度の取組みについては、県が継続実施を明言したので別途経済対策として町の取り組みを整理し、対応できる工事内容を検討していく。

北給食センター

食缶方式への改修で効果大

総務・教育民生・産業建設常任委員会は、10・11月それぞれ所管する事務事業を調査し議長に報告しました。その内容を要約しお伝えします。

総務常任委員会

平成22年11月10日

地域活性化臨時交付金事業

■調査意見

この事業は、国の経済対策事業で、事業総額も大きく、事業効果も非常に高く、町民の生活に密着した事業が実施されていると認められる。今後も国の補正予算に対応し、町の実情にあった事業展開を望む。

公有財産の売り払い状況（土地、立木）

■調査意見

土地は、現地の現状把握及び周辺調査をし公売され、売却額は、課税標準額を基準とし適正な契約額となっている。

立木は、間伐事業等国の有利な事業を活用しながら、町有林の管理を続けてもらいたい。

北給食センターでの試食

遊休地の現状

■調査意見

遊休地は、周りの環境、立地条件、土地利用計画など入念に調査し、売却の可否を検討のうえ順次公売を行い、自主財源の確保を図られたい。

教育民生常任委員会

平成22年11月9日

北給食センター改修後の運用状況

■調査意見

食缶方式により残飯が以前より減っている。給食メニューは多様性に富み、食育への効果も期待される。設備、備品等の改修により作業効率が上がり、人件費の減少にもつながって改修効果は大きい。

六郷中学校エコサッシ及び校舎工事進捗状況

■調査意見

エコサッシは、防音、断熱、防災、UVカット効果に優れており、改修効果は非常に大きく、冬期間の寒さ対策が期待される。

統合中学校工事の進捗率は、調査時33％であった。

中央ふれあい館、学友館エリアの利用状況

中央ふれあい館の利用落ち込みが見られるが、施設内部が改修され、小会議室等も複数あるので、町民へ積極的に周知されたい。

学友館駐車場の拡幅や、駐車場整備により利便性が大きく図られている。景観を含め、旧六郷公民館跡地利用を考慮すべきである。

六郷幼稚園、保育園施設の現状調査

■調査意見

現在進めている施設整備計画策定の調査を早期にまとめ、方針の決定を急ぐべきである。

産業建設常任委員会

平成22年10月22日

平成22年度転作取組状況

■調査意見

水稲生産実施計画書の提出状況は、対象農家2105人に対して2002人で、未提出者の内訳は飯米農家が68名、非参加農家35名となっている。

戸別所得補償モデル事業によって転作非協力農家は減少したようだが、今後も制度の周知に努められたい。

道路整備状況の現地調査

大田区での美郷米の販売状況

■調査意見

大田区をはじめ全国の店舗で販売されていて、販売実績は前年比で1・9倍、取扱店舗数は前年比で40店舗増加している。

農政課職員とJA職員が米販売店や区立保育園等に直接出向き、美郷米の販路開拓できたことは高く評価できる。さらなる販路拡大を期待したい。

平成22年度工事発注状況

■調査意見

建設課関係では61件の工事が発注され、契約額の総額は、5億4449万6400円となっている。

歩道整備など行われているが、冬期通行の確保と安全対策に努められたい。

請願・陳情

採択し、意見書を提出しました

◇大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書
秋田県医療労働組合連合会
執行委員長　中村　秀也

◇雇用と生活をまもる施策強化を求める陳情
秋田県労働組合総連合
議長　佐々木　章

◇高齢者の生活実態に見合う年金引き上げを求める意見書の採択を求める陳情
全日本年金者組合秋田県本部
大曲支部執行委員長　石渡　志夫

◇後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の採択を求める陳情
全日本年金者組合
秋田県本部執行委員長　渡部　雅子
大曲支部執行委員長　石渡　志夫

◇最低保障年金制度の制定を求める意見書の採択を求める陳情
全日本年金者組合
秋田県本部執行委員長　渡部　雅子
大曲支部執行委員長　石渡　志夫

不採択としました

◇米軍への「思いやり予算」廃止の意見書採択を求める陳情
安保破棄諸要求貫徹秋田県実行委員会
事務局長　中　田　　博

◇米軍への「思いやり予算」廃止の意見書採択を求める陳情
秋田県平和委員会
理事長　風間　幸蔵

❖議会の動き

10月
12日　第6回議会臨時会・政策等意見交換会
13日　長野県東御市議会来町（行政視察）
15日　議会意見交換会
19日　佐賀県鳥栖市議会来町（行政視察）
20日　住民と議会との懇談会（～22日）
21日　大阪府大阪市議会来町（行政視察）
22日　産業建設常任委員会所管事務調査
25日　岩手県宮古市議会来町（議会広報視察研修）
26日　岩手県山田町議会来町（行政視察）
28日　福島県本宮市議会来町（議会広報視察研修）
　　福島県国見町議会来町（行政視察）

11月
4日　産業建設常任委員会
　　宮城県登米市議会来町（議会広報視察研修）
5日　宮城県蔵王町議会来町（議会広報視察研修）
8日　議会全員協議会・議会運営委員会
　　第7回議会臨時会
　　五城目町議会来町（議会広報視察研修）
　　千葉県富里市議会来町（議会広報視察研修）
9日　教育民生常任委員会所管事務調査
10日　総務常任委員会所管事務調査
11日　議会意見交換会
12日　山形県大蔵村議会来町（議会広報視察研修）
　　山形県大江町議会来町（議会広報視察研修）
15日　静岡県長泉町議会来町（議会広報視察研修）
　　岩手県金ヶ崎町議会来町（行政視察）
22日　政策等意見交換会
25日　第8回議会臨時会

12月
6日　議会運営委員会
13日　第9回議会定例会（～16日）
　　議会意見交換会・議会広報特別委員会
14日　総務常任委員会・教育民生常任委員会
　　産業建設常任委員会
16日　議会広報特別委員会・議会運営委員会
20日　政策等意見交換会
28日　議会広報特別委員会

2011年
1月
6日　広報特別委員会

キラリ シリーズ 美郷人 VOL.21

キラリ美郷人は、学校シリーズ第５回目として仙南西小学校の活動を紹介します。

スマイル農園“10アール”

仙南西小学校

本校の学校報「沃野（よくや）」は、仙南の沃野まっただ中にその存在感を示すようにと名付けたものに違いないと思いますが、広々とした田んぼに囲まれている西小には、この地域ならではの自慢の学校農園があります。他校にはあまり見られない10アールを超す広さに、子ども達が制作した「スマイル農園」の看板を立て、様々な種類の野菜を育てたり、色とりどりの花を植えたりして、秋までの長い期間楽しんでいます。

学校だけでは手が回りきれない程のこの広さも「水土里（みどり）ネット」の皆様から全面的なご協力をいただくこと４年目になりました。定番のサツマイモ、枝豆、トウモロコシの他に、イモノコ、落花生、ジャンボカボチャ、ヒョウタン等も大収穫でした。なべっこ会では、スマイル農園産のイモノコ汁を一緒に味わっていただき大好評でした。「美郷をえがこう」というテーマでヒョウタンには絵を、ハローウィンの飾りはジャンボカボチャで作る新たな活動もあり、「10アール」が与えてくれたことの大きさを実感しています。

学校統合が決まり、「地域みんなの西小」を懐かしく心に刻もうという思いで、「２０１０　西小」と花文字にも初挑戦しましたが、色鉛筆で描いたようではありませんでした。しかし、地域と学校の相互関係をより深く大切にしていくことが、やがて大人になる子ども達の、地域に対する思いの詰まった底力にきっとなってくれるものと信じています。

校長　石田　純子

編集後記

年末年始、テレビにくぎづけとなった。我が美郷町出身選手の大活躍である。年末の全日本アマチュア横綱となった、渋谷悟選手（仙南・萩沢）。そして、箱根駅伝・青山学院大学主将小林駿祐選手（仙南・新田）のアンカーでの頑張りである。彼らの活躍・頑張りは郷里に感動と勇気を与えてくれた。

正月三が日の好天と合わせ「こりゃ～、春から縁起がいいわい」である。彼らの活躍から私達にとっても、今年一年活・活きと躍・動する一年であって欲しいと願う。その為には、彼らのようなひた向きな努力と勇気が必要なのだと改めて思った次第である。皆様にとって良き一年でありますように!!

深沢　義一

議会広報特別委員会

委員長　泉　美和子
副委員長　深澤　均
委　員　吉野　久
委　員　戸澤　勉
委　員　飛澤龍右エ門
委　員　深沢　義一

次回定例会は、３月上旬の開会を予定しています。傍聴を、お待ちしています。

美郷町議会事務局　〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10（美郷町役場内）
TEL.0187-84-4912 FAX.0187-85-3102 E-mail gikai @ town.misato.akita.jp
美郷町ホームページ　http://www.town.misato.akita.jp/

VEGETABLE OIL INK　地球環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。